

3月定例会報告 32議案を可決

富士見町議会3月定例会は、3月3日から15日まで13日間の会期で開きました。町長が提出した2016年度一般会計予算、特別会計予算をはじめ、条例改正、人事案など計32議案を審議し、全議案を可決承認しました。一般質問は7、8の両日行い、9人の議員が町側の考えをたきました。

28年度一般会計予算案を可決

新年度一般会計予算は、地方創生総合戦略を最重要テーマに、IT関連企業の誘致、移住定住促進を進めながら、町の第5次総合計画などを基に、道路、福祉、子育て支援など、町の活力を高める戦略的な施策に積極投資したものとっています。

富士見パノラマスキー場の施設を町が買い上げたこと（上下分離方式）に伴う借入金が残金7億2000万円を昨年度末に一括返済しました。これまでの支援計画で毎年返済に充てる予定だった単年度分の1億8000万円は、テレワーク推進事業、道路の長寿命化修繕、子ども子育て支援などに振り向けるとしています。

第3子以降の3歳未満児 未就園の場合に月額2万円補助

富士見町は、第3子以降の3歳未満児を保育園に預けず、家庭内で子育てする世帯に対し、月額2万円を補助する支援制度「家庭子育て補助金制度」を2016年度に新設しました。一般会計当初予算に、子ども50人分として、1200万円を計上しました。経済的事情から3人目の出産に踏み切れなかった夫婦への新たな支援制度です。3月定例会の議案質疑で、小林町長は「第3子目を頑張ってもらいたいという思いを込めた」、脇坂教育長は「町内の子どもの数（1夫婦）の平均は2.5人だが、これを3人にしたい。3人に増やすことへのインセンティブを与えたい」と語りました。

【予算審査特別委員長 報告概要】

新年度予算や前年度決算については、議員全員で情報を共有し、町の全体像を把握する事が望ましいので、28年度予算についても特別委員会を設置し、各課の所管する予算が、住民の為にバランスが取れた事業になっているかを、議員全員でチェックするために担当課・係より丁寧な説明を受け、質疑、討論、採決を経て慎重審査しました。

28年度当初予算は、下記の一般会計・特別会計・企業会計予算となります。

◆第24号／一般会計・歳入・歳出とも67億1800万円

◆第25号／28号／特別会計合計・22億1800万円（国民健康保険18億9500万円、後期高齢者医療1億8200万円、観光施設貸付事業1億2300万円、富士見財産区1795万円（他2地区の財産区会計は除く））
◆第29号／30号／上下水道事業会計・26億8100万円

28年度総予算額 116億1700万円については、本会議において予算審査特別委員会で審査した経過と結果について委員長報告をしました。

3月定例会における議案の採決結果については別表の通りです。
以上概要についてお知らせいたします。



2016年度一般会計予算

総額67億1800万円（前年度当初比 9200万円減）

主な財源

町税（町民税、固定資産税など）	23億1200万円
地方交付税交付金	19億9000万円
国・県支出金	8億4900万円
地方消費税交付金	2億8000万円
分担金・負担金	1億1200万円

主な使い道

テレワーク推進	6400万円
移住定住促進	1500万円
道路維持修繕	1億460万円
道路長寿命化修繕	2400万円
八ヶ岳観光圏整備	2200万円
コミュニティスクール推進	380万円
小中学校施設改修・環境整備	4800万円
家庭子育て補助金制度新設	1200万円
農作物有害鳥獣駆除	5600万円
住宅リフォーム支援	600万円
坂上遺跡土偶レプリカ作成	250万円
中央道富士見停留所駐車場の拡張	170万円

特別会計予算（全6会計）

総額25億4800万円（前年度当初比 8700万円減）

国民健康保険	18億9500万円
後期高齢者医療	1億8200万円
観光施設貸付事業	1億2300万円

企業会計予算（全2会計）

総額26億8100万円（前年度当初比 1億2600万円減）

水道事業	8億7700万円
下水道事業	18億300万円

2016年度当初予算歳出合計

総額119億4700万円（前年度当初比 3億600万円減）